

第9回グリーン物流パートナーシップ会議 基調講演 2010.12.10.

『エコ・エコノミーの時代～消費者が求める物流』

ワールドウォッチ研究所 日本副代表

日本環境ジャーナリストの会 副会長

村田 佳壽子

1. 地球環境問題は人間の“在り方”の問題；100年後の誰かでなく今、自分にとって

<地球環境問題9項目> 92年国連環境開発会議（地球サミット）

- 地球温暖化●酸性雨●オゾン層破壊●森林破壊●野生生物種減少
- 砂漠化●海洋汚染●有害廃棄物越境移動●途上国の公害問題

<新たな問題3項目> 94年国連人口開発会議以降、地球環境問題に追加

- 人口問題●食糧・水問題●エネルギー問題

2. 環境破壊の現実と将来予測・・・環境問題の重要性：「人間の安全保障」

<2012年には世界的規模で食糧危機→食と水の争奪戦争> 「フードセキュリティー」

<2015年には石油は高騰のため、使用不可能> 新エネルギーへの転換

3. 企業にとっての重要性と対応；物づくりから価値づくりへの商品開発

☆『エコ・エコノミー』<“経済か環境か“ではなく”経済も環境も“の価値観へ転換>

- ・“三方善し”の経済社会：「売り手善し、買い手善し、世間善し」
- ・【人類全体の存亡に関わる重大問題であり、最優先課題】が日本以外の先進国の共通認識であることを認識し、経済・社会のすべてを再構築。

☆『プラン B』<21世紀の価値観；国益から地球益への転換>

- ・ 環境と経済を融合させ、従来とは全く違う持続可能な社会を創る具体策
- ・ 適正生産・適正消費・完全循環型経営＝経済、社会の構築
- ・ バイオリージョナリズム（地域生態系主義）による地域活性化＝自治体 CSR
- ・ 躰と教育の充実；「愛すること」を基本に据えた心の教育。「お金を使うより頭を使う」
- ・ 8R； Refuse, Reduce, Reuse, Recycle, Repair, Rebuy, Rethink, Reborn
- ・ クリーンエネルギーの活用；省エネから創エネへ；エネルギー自立

4. 自治体、国家にとって；EU、スカンジナビアに学ぶ地球市民の幸せな生き方

EU圏内共通の環境法規、各国の独立性・独自性は保ちつつ、共存共栄

One for all、All for One・・・社会民主主義 = 地球環境主義

《ドイツ》

・アーヘン市では、市が太陽光パネルを製造企業から税金で買い上げ、全家庭に無料配布。

《 スカンジナビア：ノルウェー、スウェーデン、デンマーク 》

- * 日本より条件的に不利；乏しい資源を無駄なく使い、教育重視で優秀な人材を育成。
- * 競争より協力；努力のポイントを絞り、能力を集中、最大の効果をあげる。
- * 生涯人間、一生勉強；福祉と教育が充実、いつでも学生になれる。老後の心配一切なし。
- * 民度が高い＝政治レベルが高い → 環境がビジネスになる社会経済構造。

<ノルウェー>

- ・ 環境観光：自然＋歴史遺産

<スウェーデン>

- ・ IT、福祉、環境の最先端。ヨーロッパのIT拠点。
- ・ オンブズマン制度発祥の地。小学生からオンブズマン。政治、行政に関心、納税者としての自覚を持ち、税金の使い方、政治家や役人を厳しく監視。不正は絶対許さない。

<デンマーク>

- ・ 福祉と教育大国。
- ・ 02年まで世界中の風力発電機の約51%生産、日本国内の約80%がデンマーク製。

持続可能な社会 = 【多様性】 【調和】 【バランス】

☆ まずは教育、最後は政治；教育の成果＝民度＝政治レベル

☆ 自治体政府；独自条例制定→国の施策化、法整備＝エコ・エコノミー社会への転換。

- ・ 積極的に事実を知る；地球環境問題の深刻な現状を認識、知識を持つこと。
- ・ 日本の環境研究・技術は世界一の高水準。これを十分生かす社会経済システムを構築。
- ・ 他の人にも伝えて、協力し合い、励まし合うこと；競争の時代から協力の時代へ
- ・ 意識改革；根本的価値観を見直す、自分で考える。
- ・ 行動改革；意識改革後の新しい行動、自発的行動（やらない場合とやった場合の比較）
- * 独自性＝他ではできないこと。「ここにしか咲かない花」を咲かす→「協働の花束」
- * まちづくりは人づくり；企業＋自治体＝地域社会・・・ハコモノでなく人間を創る

あなたはどんな社会を創りたいですか？

5. エネルギー環境革命

『プランB型社会』世界一の日本の技術を生かし、知恵と協働が基本、愛がすべての源

(独) 国立環境研究所；地球環境研究、特に温暖化に関しては世界一の研究機関

◎輸送部門は全体の約20%にあたるCO2を排出、そのうち約90%が車。

☆そこで、エコ・エコノミー型エネルギー革命！！

☆～エネルギー多様性；エネルギーを選べる時代、適材適所；長距離輸送と地域内配送

《 天然ガス&バイオガスのコンビネーション 》 改造車でなく “ガス用大型車” 即納可

※ガス大型車とガスステーション設置が急務・・・雇用創出、地域活性化も同時に実現。

*ガソリンから天然ガスに切り替えるとCO₂は約50%減。NOX、SOXはほぼ0に。

*同量の荷物を同距離輸送；ガソリンが最高値1Lで150円の時、天然ガスは60円。

*バイオガス；廃棄物（家畜糞尿、家庭雑排水、木くず、植物 etc.）

農作物（イネ、廃棄野菜 etc.）

*自宅で再生可能エネルギー；バイオガス発電「Toilet to Omlet」@スウェーデン他

*各地の各住宅に設置、エネルギーの自給自足、ゴミ問題の一部も解決。

*各地でプラント設置、雇用促進、地域活性化。

*地域の特性に合わせた“バイオリージョナルプラント”；ドライ、ウェット、ミックス

*つくったガスを各地に販売；地域経済活性化 → 日本経済活性化

◎ 21世紀期待の新エネルギー；太陽光発電・風力発電・燃料電池・小型水力発電

*太陽光；三洋、シャープ、京セラ、三菱が世界一競争。

*風力・燃料電池 etc

☆自然エネルギーは、単独でなく複合型で使う

.①CO₂削減に貢献＝CSR；消費者から評価を受けられる

③携帯電話で環境貢献；ポイントを現金換算、NPOに寄付(学校、植林、etc.)

☆輸送手段を消費者が選べるようにし、負荷の少ない手段を選択すると、ポイントゲット；

携帯電話で商品購入時に“環境負荷低減型配送手段”を選ぶとポイントゲット

物流業者も消費者も「得してエコ」

*エネルギーのすみ分け；例えば、長距離はガス、地域内配送はハイブリッド車、電気自動車や電動アシスト自転車

☆内窓・・・エアコンCO₂を60～80%削減

※物流+家庭・・・→25%削減達成!!!

物流に女性の感覚を！理屈ではなく感性が大事。

女性はエコに敏感。女心は“エココロ”

「エコじゃないと、後ろめたい!!!」

物流に直接関与する消費者 = 女性が多数

女性の心をつかめる物流が生き残れる

☆☆☆ 志あるところに道在り ☆☆☆

環境ジャーナリスト・フリーアナウンサー / 環境省環境カウンセラー No.1996213041

村田 佳 壽 子 （むらた かず こ） E-mail : angelus_kaz@ybb.ne.jp

【 主 な 現 職 】

- * ワールドウォッチ研究所 日本副代表
- * 日本環境ジャーナリストの会 副会長
- * 東京農工大学 非常勤講師
- * (社) 環境科学会 評議員
- * ISO 14000 認証登録判定委員
- * (財) コカ・コーラ教育・環境財団 評議員

【 主 な 略 歴 】

文化放送専属アナウンサーから89年環境ジャーナリストに。91年日本環境ジャーナリストの会設立、93年環境庁国立環境研究所客員研究員、99年新潟県上越市環境担当副市長等多数歴任。『関口宏のサンデーモーニング』『朝まで生テレビ』他 TV 出演・監修、EU 欧州委員会、北京大学、経団連等国内外で講演多数。オバマ大統領ブレインのレスター・ブラウン博士が創設、名誉所長であるワールドウォッチ研究所日本副代表等多数兼任。

【 最 近 の 主 な メ デ ィ ア 出 演 】

- * 10年2月20日NHKBS2『BSフォーラム〜どう増やす、再生可能エネルギー』
- * 09年4月〜10年3月ディスカバリーCh.『村田佳壽子の今から始めよう、家エコ』
- * 09年『週刊SPA!』「特集 間違いだらけのエコが地球を壊す」
- * 08年テレビ東京系 環境特番『レスター・ブラウンの日本ウォッチ』出演・監修
朝日ニュースター『武田鉄矢の週刊鉄学』コメンテーター
日経CNBCテレビ『夜エクスプレス』（社）経済同友会環境問題提言を評価
『週刊エコノミスト』創刊85周年特別企画「地球と企業〜地球環境特集」、
『non-no』16号特集「世界のエコから目が離せない」
『週刊SPA!』特集「食糧と環境」、「中国の毒入り酸性雨」
『サンデー毎日』特集「北京五輪後の中国の環境」

【 著 書 】

- 『つながるいのち』 <amazon.com 生物多様性カテゴリーで売り上げ第1位>
- 『中小企業のための ISO 14000』
- 『約束〜森からの贈り物』 <環境教育絵本>

以上